

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第 18 号～平成 29 年 5 月号～



南幹線トンネル掘削機は、粘土層区間を掘削しています。

「いろは呑龍トンネル」南幹線の工事現場で、防災パトロールが実施され、国土交通省淀川河川事務所、向日町警察署、乙訓消防組合、長岡京市消防団、長岡京・大山崎水防団、長岡京市などの防災関係機関に携わる約40名の方が参加されました。



防災パトロール (工事現場)	防災パトロール (工事現場)	防災パトロール (監視制御室)	安全掲示 (無災害記録表)						
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #008080; color: white; margin: 0;">無災害記録表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">目標時間</td> <td style="background-color: #008080; color: white; text-align: center;">200000 時間</td> </tr> <tr> <td>4月20日 現在</td> <td style="background-color: #008080; color: white; text-align: center;">115744 時間</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工期 平成 27 年 3 月 25 日～平成 31 年 3 月 25 日</td> </tr> </table> </div>	目標時間	200000 時間	4月20日 現在	115744 時間	工期 平成 27 年 3 月 25 日～平成 31 年 3 月 25 日	
目標時間	200000 時間								
4月20日 現在	115744 時間								
工期 平成 27 年 3 月 25 日～平成 31 年 3 月 25 日									
<p>「いろは呑龍トンネル」のこれまでの貯留実績、浸水被害の軽減効果や南幹線ができることで長岡京市も「いろは呑龍トンネル」の対策エリアとなることを説明するとともに、工事現場を視察していただきました。</p>			<p>総労働時間は、10万時間(約14か月)を突破しています。(この間、無災害)</p>						

「いろは呑龍トンネル」南幹線で使用しているセグメントは、均一な品質を高い精度で確保するため、工場で製作しています。

トンネルはコンクリート製品であるセグメントを組み立てることでできています。そのため、セグメントが均一な品質で規格通り製作されていることが非常に重要です。

セグメント製作工場では、セグメントに大きな力を加える破壊試験により強度の確認を行い、寸法については mm 単位で管理して製作しています。

セグメント製作 (コンクリート打設前)	セグメント製作 (コンクリート打設)	セグメント製作 (コンクリート打設後)
		
セグメント検査 (破壊試験)	セグメント検査 (破壊試験)	セグメント検査 (寸法計測)
		

<工事の進捗状況>

いろは呑龍トンネルは、国道171号を北上しています。

【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要
 掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m
 掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日
 工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日



○雨水南幹線の掘進状況
 (平成29年5月15日現在)
 2,740m / 全長4,069m
 【 67% 】

発進立坑内 (坑口) の状況



泥水処理プラント (全景)



トンネル内部の状況



発進立坑 (京都府洛西浄化センター内)

